

学校施設に関する各小学校教員による所見

<前提条件>

- 1 統合時の全児童数は200人前後
- 2 下田中学校と小中一貫教育活動を行うもの
- 3 第1回の会議資料No8「下田地域小学校比較表」を参考

項目		長沢小学校		笹岡小学校		大浦小学校		森町小学校		飯田小学校	
建設年月日		H6年3月		H9年3月		H12年3月		H4年2月		H8年3月	
建設当時の児童数		231人		95人		79人		161人		218人	
普通学級数	特別支援学級数	9学級	1学級	6学級	0学級	6学級	0学級	6学級	1学級	8学級	0学級
R7年度の児童数		74人		37人		43人		62人		80人	
普通学級数	特別支援学級数	6学級	2学級	3学級	1学級	4学級	2学級	5学級	2学級	6学級	3学級

項目	長沢小学校	笹岡小学校	大浦小学校	森町小学校	飯田小学校
1 学校運営や授業を行う上で下田中学校との距離に関する懸念事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と中学校との物理的距離が大きいほど、日常的な小中一貫教育を基軸とした教育活動に困難が生じる。(移動時間がかかるため、活動がイベント的、単発的なものになりやすい。)</li> <li>よって、中学校との距離は、移動に負担が生じない程度であることが望ましい。(例えば徒歩圏内、1km以内。)</li> <li>・児童が徒歩で移動可能な距離なので特になし。</li> <li>・6年生の出前授業や中学校区のあいさつ運動、絆スクール集会など、中学校との交流活動が様々計画されているため、中学校と近い校舎の方が良いと考える。長沢小学校から中学校までは徒歩での移動も可能な距離だと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・距離について懸念することは特になし。今でも「しただの郷学園絆スクール集会」や「しただの郷学園学校保健委員会」、「小中一貫あいさつ運動」等は円滑に実施されている。</li> <li>・小中一貫教育活動の内容や頻度にもよると思うが、当校は遠いため、時間や内容に制限がかかることが懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区が広がるため、学区の両端に位置する大浦小学校と森町小学校は他校と比べると下田中学校からは遠い。小学校児童と中学校生徒との交流活動を行うにあたって、校舎を移動する際には、大浦小学校または森町小学校が統合校舎となった場合、児童・生徒を何回もバスでピストン輸送しなければならぬので活動自体(移動だけで時間が大幅に費やされる)に支障をきたす懸念がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、森町小学校区の児童は、朝①小学生・中学生で同じバスに乗る→②森町小学校で中学生がバスを乗り換える→③下田中学校へという形で登校している。新しい学校と下田中学校との距離が離れていても、同じような形で(兄弟姉妹が同じ時間に)バスに乗って登校ができることが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのように、移動にバスが利用できるならば問題はない。</li> <li>・近い方がよいと思うが、距離での懸念はあまり感じていない。</li> <li>・スクールバスの運行に支障がなければ、距離に関しては特になし。</li> <li>・下田中学校に行くには、徒歩は難しい。バスを利用する必要がある。</li> </ul>

項目	長沢小学校	笹岡小学校	大浦小学校	森町小学校	飯田小学校
<p>2 学校運営や授業を行う上で校舎の状況(普通教室や特別教室、職員室の広さや設備など)に伴う懸念事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的ホールが教室になるので、フリースペースの確保が難しい。</li> <li>・教室に改修をしても奥まった場所のため大多数の児童と離れてしまう教室がある。</li> <li>・玄関が狭いため、隣の乾燥室を活用すれば広さを確保できる。</li> <li>・放送設備が校舎の奥にあり、離れた場所にある。</li> <li>・教室の広さは児童が入る大きさである。</li> <li>・駐車場数は現状十分でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさと資料室」的な特別教室が欲しい。地域教材やふるさと学習等で役立ち、「笹岡地区」「長沢地区」等の区割りで展示があれば、学校が無くなった地域出身の児童でも自分の地区についての調べ学習ができ、ふるさとへの愛着を持ち続けることができると思う。</li> <li>・特別教室について、当校は理科家庭科室が固定式のイスで20人程度しか座れない。</li> <li>・児童数の多い学級で31人になるが、当校の教室は20人が限度と思われる。スペースに余裕がないとけがやトラブルにつながりやすいと思われる。</li> <li>・児童玄関が狭いため、登下校時に混雑して危険と思われる。</li> <li>・統合後の人数だと、トイレや手洗い場の数が不足する。手洗い場は教室の近くに数がないと、図工や書写の授業後や、給食前に混雑する。</li> <li>・保健室のベッドの数や休憩スペースが足りないと思われる。</li> <li>・職員数に合わせた、職員室や更衣室、職員トイレなどの整備。職員室は重要書類も扱っているため、きちんと管理するためにも整理できる広さが必要。</li> <li>・学校行事の際は、保護者や地域の方も止められる駐車スペースが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R10年4月の1年生、2年生が31名でそれぞれ1クラスの想定であるが、大浦小学校の普通教室では、そもそも31名入れる広さではない(笹岡小学校はさらに狭い)。</li> <li>森町小学校でも31名は相当密な状態になると思われる。教室内をほとんど動けないほどの机椅子がびっしり配置されている環境は、活動が制限されることや衛生面でも適切とは考えられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森町小学校は普通教室の面積が大規模校の教室サイズと異なり、6年生が30名程度でちょうど教室がいっぱいになる(ロッカーも同程度)ので、「校舎に収まる」見立てではあるが、統合して使うには狭いと思われる。</li> <li>・トイレ、水道、駐車場はどの学校も今のままだと不十分。</li> <li>・あまり雪深くない地域に校舎があるといい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階多目的スペース：昇降口に近いため、来客の影響を受ける。外部からの侵入への対策が必要と考える。玄関ホールは災害(避難訓練)時には活用している。</li> <li>・3階多目的スペース：児童がフリーに過ごせる場所として確保したい。多目的スペースと視聴覚室が教室となると3階にかなりの人数が集まることになり、限られた休憩時間の中でトイレ使用者が集中することが想定される。</li> <li>・3階特別支援教室(あおぞら2)は、現在の在籍での稼働は可能だが、統合し学級の人数が増えたら現在より広さが必要になる。</li> <li>・児童クラブの部屋が不足する 1～3年生が中心に利用するので、同じ敷地内で児童クラブが利用できることが望ましい。</li> </ul>

項 目	長沢小学校	笹岡小学校	大浦小学校	森町小学校	飯田小学校
<p>3 その他御意見等自由記載</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品の収納スペース確保が懸念材料である。</li> <li>・職員数の増加に見合う男女別休憩室や更衣室の確保、広さの維持が心配である。</li> <li>・職員数の増加、保護者数の増加に伴う駐車場のスペース確保が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の駐車場や行事の際の保護者の駐車場などはやはり必要である。周りに駐車場として増やせる敷地があるかどうか検討する上での材料になるのではないか。</li> </ul>	<p>特になし</p>	<p>特になし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食について、現在、飯田小では全校が食堂で喫食している。統合後は、教室で給食を食べる学級が生じる。その際、学級数によっては給食を2階3階へ上げる方法を考えておく必要がある。</li> <li>・校舎周りをロータリーにして、非常時には保護者が車から降りることなく、児童を保護者に引き渡すことができる。その際、保護者の氏名等二重確認も可能である。</li> <li>・廊下が広く、各階2か所ベンチもありゆったりと過ごせる。</li> <li>・全教室がグラウンドに面している。学年間の活動が見えやすい。</li> <li>・食堂が212人には狭い。</li> </ul> <p>しかし、低学年教室が自教室で給食を食べることになった時には、配膳室が近くて良い。</p>